

# 提言への市の取り組みや方向性

目次	
項目	ページ
1、土佐山田駅・アンパンマン・観光関係	1
2、商工業、農業、林業	4
3、移住・定住	6
4、子育て・教育	7
5、図書館・文化ホール	9
6、健康福祉	10
7、環境・道路	11
8、交流・協働	13

## 1、土佐山田山田駅・アンパンマン・観光関係

資料1、基本構想P24・25 基本計画（P77）

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
1	土佐山田駅に橋上通行路を設け、駅を利用する北側住民の利便性を高める	—	土佐山田駅を中心とした駅周辺の整備を計画に記載し、事業を実施していく。現在都市計画道路新町西町線の大型事業を実施していることもあり、駅の橋上化については、駅のバリアフリー化等も含め、長期的視点を持って検討を行っていきます。
2	土佐山田駅の愛称に「アンパンマン駅」を使用し、観光客の誘致増につなげる	—	土佐山田駅の周辺整備、土佐山田駅の橋上化等の問題も含めて駅の愛称化についても検討を行います。
3	「ジャムおじさんのパン工場」を開設しパン作りなどの体験ツアーに結びつける【香北】	体験観光は何かやっているか	提言を参考にしながら、新しい体験観光を観光協会と共に開発していきます。 現在行われている体験観光は、奥物部体験実習館でのこんにやくづくり、平山でのピザ焼き体験などがあります。 なお、現在ピースフルセレネ等の整備を計画しており、その中でパン作り体験なども計画しています。
4	アンパンマンをもっと積極的に活用した観光メニューを開発する【香北】	—	
5	大人が懐かしみながら楽しめるアンパンマンツアーを開発する【ツアー商品の開発】	—	提言を参考にしながら、新しい体験観光を観光協会及び（公財）アンパンマンミュージアム振興財団と共に開発していきます。
6	アンパンマンを活かしたまちづくりを推進する	—	また、高知県観光活性化ファンド等の支援により、ホテル改修等アンパンマンを活かした観光を促進する取り組みを進めています。
7	リゾート的・民宿的など特徴のある魅力的な宿泊施設を誘致する【全域】	—	

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
8	山・川で遊べるグリーンツーリズムをすすめるために、サイクリング道やマウンテンバイクで走れるコースを整備し、自転車でめぐる観光を充実させる【全域】	体験観光は何かやっているか	
9	自転車でめぐる「ものがわカフェチャリ」のようなプログラムを増やす【ツアー商品の開発】	体験観光は何かやっているか	提言を参考にしながら、新しい体験観光を観光協会と共に開発していきます。
10	「香美市パスポート」の発行により、全域を結んだ観光を構築する【全域】	—	
11	自然を活かした、気楽に親しめるトレッキングコースやマウンテンバイクコースを開発する【親しむ】	—	現状では、白髪山や塩の道保存会が塩の道でのウォーキングなど実施しています。今後、新しい体験観光を観光協会とともに開発していきます。
12	美良布の道の駅を充実させて観光協会支部的要素を持たせる【香北】	観光協会を葦生の里へ置いてはどうか	葦生の里への支援員配置を検討しており、実現すれば観光協会支部的な要素を持たせることができると考えます。
13	外国人対応のため多言語での案内をすすめる【全域】	—	多言語で案内可能なスマホ用アプリを龍河洞には導入した。その他観光地においても導入を検討します。JR土佐山田駅前のいんふおめーしょんが外国人案内所に認定(カテゴリー1)されました。また、今年度中にアンパンマンミュージアムとJR土佐山田駅前は無料wifiに整備されます。
14	香美市全体の情報をコーディネートし、発信していく機能を持つ	観光協会など、香美市内の各種団体がそれぞれで観光などの情報を発信しているので、PRがうまく出来ていない。香美市で一括して情報発信したほうがうまくPRできるのではないか。	情報発信の方法も含め、関係課で調整・検討が必要

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
15	「体験日曜市」や「大学生出店」など日曜市の活性化策を検討し、スーパーでは買えない品揃えなどで、わざわざ行きたい日曜市に育てる【土佐山田】	日曜市の店舗数は減っているか	日曜市の店舗数は減少傾向にあります。まずは商店街を活性化させたいと考えます。 ※工科大学による「おはまる市」や子ども会議による「KYO子ども祭り」等イベントが開催されている。
16	香美市の山・川・自然ガイドブックを作成し、学校や自然愛好家に配布する【知る・伝える】	—	将来に向けての検討課題とします。
17	柚子採り体験ができる観光ゆず園を整備する【ツアー商品の開発】	—	個人の農家が実施している。新しい体験観光を観光協会とともに開発していきます。
18	べふ峡温泉の上の中尾地区に、芝桜やツツジを植樹し、雪遊びなど四季折々に楽しめる公園をつくる【親しむ】	—	公園の新設でなく、提言周辺の公園を維持して行くことを検討します。

## 2、商工業・農業・林業

## 基本計画 施策38～40(P74)

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
1	刃物職人の育成に力を入れ、刃物の街を伝承していく取り組みをすすめる【土佐山田】	刃物のまちなので手厚くならないか	取組んでいるが、刃物職人の後継者自体がなかなかいない。平成29年度には打刃物活性化に向けた検討会を立ち上げる予定。
2	土佐打ち刃物、フラフ、酒蔵など香美市伝統産業をめぐる「大人も楽しめる社会見学観光コース」を開発する【ツアー商品】の開発	体験観光は何かやっているか	伝統産業についても、提言を参考にしながら、体験観光を観光協会と共に検討していきたい。
3	空き店舗を活用するなど、商店街で毎週フリーマーケットを開催する【土佐山田】	商店街の道路を使いフリーマーケットができないか。中村では大きくやっている。	空き店舗活用方法については、商工会、商店街等関係機関とともに検討していく。
4	香美市内にたくさんいるハンドメイド作家のネットワーク化をはかり、販売施設の整備をおこなう【全域】	-	ふらっと中町での販売ができないか、えびす街協同組合と協議を行います。
5	日本一の玉出し出荷量を誇る物部の柚子がブランド力を高められるよう、市がバックアップできる体制を持つ【物部】	-	生産性の面整備及び機械化等の施設整備や、新たな販路開拓や商品開発を含めた支援策について事業模索と検討が必要と思われる。また、地域活性化総合補助金において、柚子の苗木を新植する場合の補助制度があります。
6	物部の柚子から山田の打刃物までなんでも揃う「香美市物産館」を設置する【全域】	市のものが何でもそろう店のイメージ	民間のスーパーであるが、一定揃えてやってくれている店舗がある。道の駅が将来的に整備されたとき、設置を検討します。

## 基本計画 政策14(P69)

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
7	自伐型林業家の育成や森林NP0の立ち上げを助成する【活かす】	—	
8	林業従事者の後継者育成のため、山の役割を「知る・伝える」ための情報発信を拡充するとともに、自然を大切にする教育を進める【知る・伝える】	—	林業従事者の育成とあわせて、関係機関と連携し情報の発信や自然に関する教育を進めたい。 林業学校もでき、林業の担い手・後継者は増えています。（育成に関し補助制度あり）
9	木質バイオマスや小水力発電など、CO <sub>2</sub> 削減に寄与する自然を活かした取り組みをすすめる【活かす】	—	木質バイオマス有効利用促進事業として、木質バイオマス供給量増加に向け、現在取り組んでいます。 ※バイオマス燃料運搬用ダンプ導入への補助。 ※土地改良区が設置している水力発電事業への補助。
10	香美市主催で森林について語り合う全国規模の会議を開催する【知る・伝える】	—	将来に向けての検討課題とします。
11	里山保全のための伐採や草刈りなどへの補助金制度を強化する【活かす】	—	森林については、各種補助制度により間伐などの施業が行われています。また、中山間地域については、中山間直接支払制度によって、環境の保全が図られています。 また、平成27年度から農地の多面的機能の発揮のため「環境保全型農業直接支払い制度」が創設され、本市でも活用されています。
12	食用肉や皮など、鹿や猪を有効利用するための流通経路などを構築する【活かす】	—	食品衛生に関するガイドライン等(1時間以内に解体施設に搬入など)をクリアする課題があるため、多額の経費を要する。早急に対応は出来ないが、既存の設備等を活かすため、関係機関で検討したいと考えます。
13	シカ、イノシシの解体場を作り、ジビエ肉・皮革・鹿角・ラードなど、まるごと有効活用できるようにする【物部】	—	※鹿解体施設はべん峡温泉に設置済み。

### 3、移住関係

資料2 / 基本構想 将来人口(P20)

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
1	移住者が家を手に入りやすい方策として、市街化調整区域の一部緩和を行う	—	<p>県外からの移住や津波浸水地域からの転居など一部緩和が行われている。今後も緩和について検討していく。 【基本計画 政策1 (P34)】</p>
2	<p>○空き店舗や空き家・空き地の情報を発信し、活用希望者に支援策を講ずる</p> <p>○移住者が借りやすい賃貸住宅を増やす</p>	<p>移住者と受け入れ側のミスマッチを避けるため、香美市にはどのような産業（ユズ、打ち刃物、林業、…）があり、どのような地域にどれくらいの人材を受け入れられるか、受け入れ側としての情報発信に力を入れる必要がある</p>	<p>①平成24年度から空き家調査を実施。承諾を得たものを空き家バンクとして登録しホームページに掲載している。年10件の登録を目標としている。</p> <p>②移住者と地元住民の間にミスマッチが起こらないよう、移住定住業務をNPO法人「いなかみ」に委託し、市と連携して業務を行っている。</p> <p>③ホームページのトップページに移住支援情報バナーを掲載し、空家情報、支援制度などの各種情報を知ることが出来るようにしている。</p> <p>④空き家バンクの賃貸や売買を促進するために、「香美市空き家改修等補助金」制度を設けている。</p>
3	地籍調査を促進するとともに、自伐型林業家を目指す移住者の受け入れ体制を整える【活かす】	地籍調査が進まない現状では、「山村境界基本調査」等の簡易調査を検討してはどうか。	<p>①山村境界基本調査は、簡易な方法で調査が行われた場合に、後続の地籍調査への影響も含め、かえって混乱をまねくことが懸念されるため、地籍調査を推進していく。</p> <p>②林業学校もでき、林業の担い手・後継者は増えています。（育成に関し補助制度あり）</p>
4	空き農地をレンタル農地などに整備し、付帯設備を設けて利便性を高め、利用情報の発信を行う【活かす】	—	<p>農地法により、農家でないと農地を貸せない。中間保有して貸し出す事業を展開していますが、対象農地の利用及び管理方法については、周辺の営農者との調整も必要であり、執行には課題が多くあります。</p>
5	旧大栃高校を活用して物部の自然を取り入れた山村留学制度を導入する	<p>・物部の産業などに触れてもらうために大栃小・中で山村留学を実施する際に、宿泊先として旧大栃高校を利用してはどうか。</p> <p>・県が管理している大栃高校を市が借り入れて、物部の活性化や防災の拠点に活用することは出来ないか。</p>	<p>現時点では、県が県立図書館の図書等を保管しており利用できない状況である。県市図書館が完成し、図書等の荷物がなくなる段階で、県も含めた検討会を設置し、活用方法について検討したい。</p>

4、子育て・教育

資料3 / 基本計画 政策18・19(P82)

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
1	早朝・夜間・病児保育の充実で働く世代が住み良い環境づくりを整備する【産み育てる】	—	
2	夜間・休日の病児相談窓口を設置する【産み育てる】	—	「子ども・子育て支援事業計画」等で進めている計画を実行していきます。
3	親にとって経済的負担の少ない学童保育を実現する【産み育てる】	—	早朝、夜間の延長保育は実施している。また、病時保育事業として、体調不良児対応型をなかよし保育園で実施しています。
4	共働き世帯が安心して子育てできる環境を整備し、その内容が伝わるような情報発信に取り組む	親が安心して働ける、小さい子どもから預けることのできる場所を整備してほしい。	夜間、休日の病児保育については、医師の配置の問題があり難しい。
5	子どもたちが安心して過ごせる場所を整備する【産み育てる】	—	「放課後児童クラブ」や「子ども教室」が充実するよう検討します。 ※放課後児童クラブ数→小学校7校中 8つ設置 ※子ども教室→各学校で放課後実施
6	「子どもたちを見守る見守り隊」を組織し、市全体で育てられる環境を整備する【産み育てる】	—	現在活動している「やまびこ会」を継続していきます。 ※やまびこ会 香美市各小学校毎に組織している民間ボランティア団体。パトロール、学校の応援、見守り等を実施している。山田5小学校約100人、大宮小学校13人、大柄小学校9人の会員数。
7	定年になった人が子どもたちに関われるしくみを構築する	—	子育て援助活動支援（ファミリー・サポート・センター）を平成30年から取組む予定であり、そこで構築されることとなります。 ※ファミリーサポートセンター 子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と子育ての手助けをしたい人（援助会員）が会員となって、地域において助け合う会員制の有償ボランティア組織。

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
8	子どもの通学バス料金の無料化を実現する【産み育てる】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大柝高校がなくなり山田高校に通う分を。</li> <li>・山田で事業（イベント等）がある場合、香北から参加できない。また、その反対もある。</li> </ul>	
9	全小中学生の通学定期の無料化に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自立やキャリア教育の一環として、子どもだけで市内のどこでもいけるように、バスの無料化を行う。（夏休みだけなど、現敵的なものでも良い）</li> <li>・子ども教室や理科教室などを山田で行っているが、近隣以外の地域の子どもたちは自力で通えないので、参加できない。</li> </ul>	<p>通学距離が4km以上の場合には全額無料の補助金を出している</p> <p>※今後、小中学生の通学定期、バスの無料化等については、関係各課でワーキングチームを組織して検討していく。</p>
10	学園都市であることと豊かな資源があることを活かして、子どもたちが香美市の文化や伝統産業、人と触れ合える「香美っこタウン（仮）」を開催する	何か行事を行わなければいけないという捉え方をしているようだが、現時点では無理でも、長期的な視点での回答をして欲しい。	<p>香美市中学生を対象とした「キャリアチャレンジデー」を工科大で実施しています。</p> <p>また、市の文化や伝統産業については、学校の授業で学習する機会を設けています。</p> <p>また、香美市内の小・中・高校生で「香美市こども会議」を設置し活動内容を決めて主体的な活動を行っており、現状の活動を支援していきます。将来的に、子ども会議から「香美っ子タウン」の取り組みについて提案があれば支援していきます。</p>
11	交換留学など、香美市の子どもたちがグローバルな視点を育てられる制度を拡充する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市を観光で売り出すには、英語が話せる子どもを育てなければいけない。</li> <li>・交換留学という文字がネックになっているのでは。</li> </ul>	<p>外国語指導助手（H27：5名→H28：8名）による英語指導の外オーストラリアメルボルン州の学校と大宮小学校を中心とした相互学習を目指した姉妹校提携を進めており、グローバルな視点は、今後育まれるものと考えます。</p>
12	コミュニティスクールの拡充をはかる	学校自体がコミュニティ・スクールの動かし方がわかっていないということもあって、もっと力を入れてほしい。	<p>現在、設置は片地小学校のみ。現在下記のとおり設置に向けて準備中。</p> <p>平成29年度→大柝小中 平成30年度→香長小学校、舟入小学校 大宮小・香北中、楠目小学校</p>

## 5、図書館・文化ホール

基本計画 施策58(P95)

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
1	図書館や文化ホールなどの文化施設充実のため、既設施設の転用や改修・改築を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今すぐに建設の計画を立てるのは無理だろうが、10年先を見据えた長期的なものとして基本計画にも取り入れてほしい。</li> <li>・文化ホールの規模でなくても、現在の中央公民館を改修してそれにかわるものを作ってほしい。</li> </ul>	<p>新図書館については、平成31年度の完成予定を目指して現在準備を進めています。また、文化ホールの設置は検討しましたが、現段階では今回の振興計画に建設に向けて計画するには、課題が多いと思われます。しかし、中央公民館の改修は、建物自体の耐震化が図られている一方、舞台設備や空調などが旧式のままであることから、使いやすいうように充実を図っていく必要はあると考えています。</p> <p>【図書館建設スケジュールの概要】          平成28年度 基本設計（市民ニーズの把握）          平成29年度 実施設計          平成30年度 本体建設          平成31年度 完成（開館予定）</p>
2	落ち着いてゆとりの時を過ごせるようなカフェ的要素を持つ図書館を作る	—	<p>現在、新図書館建設に向けて準備を行っており、市民懇談会の開催やアンケートの実施により意見等を計画に反映させるよう考えています。</p>
3	人を集めるため・呼ぶために、人数の入る文化ホールを持つ【全域】	〃	<p>文化ホールの建設については、優先順位、費用対効果、財政計画等を踏まえて検討していきます。</p>
4	生涯学習・社会学習の拠点として文化ホールを建設する	〃	<p>※香美市立文化施設等検討委員会報告書（平成27年5月）          ○現状と方向性（概要）          文化ホールの整備を望む声がある一方、運営・維持においての意見もあり、課題が多いことが想定される。今後、市民活動が活発化し、一定の必要性が広く認知された段階であらためて検討されることが望ましい。</p>

## 6、健康福祉

基本計画 基本方針3、やすらぎを守る(P55)

NO	提 言	提言の 補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
1	高齢者たちの「やりたいこと」を活かすしくみづくりを構築し、枠にはまったサービスではなく、個人の「これがしたい」を明確にして取り入れた取り組みを行う【高齢者】	—	高齢者の自主性・自立性を高め、老人クラブやシルバー人材センターなど、様々な分野において一層活躍できるよう支援します。
2	様々なライフスタイルに合わせ、集まって安心して過ごせる場を整備する【高齢者】	—	あったかふれあいセンター事業として山田圏域、香北・物部圏域の2箇所整備し、活動開始しています。
3	体を動かして健康寿命を高められる場をつくる【高齢者】	—	地域で健康に関する運動や講演会を行なっています。また、地域での人と人とのつながりを強める活動を、住民主体で実施する、ネットワーク推進事業を推進しています。
4	子どもたちが高齢者とふれあう機会の一つとして、夏休み期間中に高校生の介護福祉現場体験研修を実施する【高齢者】	—	小中学校では高齢者とのふれあいを実施しているが、高校では行っていません。 香美市コラボレーション会議において実施できるか検討します。
5	お年寄りから子どもまでが楽しく交流できる場（サロン）をつくる【多様なつながり】	—	あったかふれあいセンター事業として山田圏域、香北・物部圏域の2箇所整備し、活動開始しています。
6	「こども民生委員」を設置し、こどもが地域での「気づき役」になる【多様なつながり】	危険な箇所やいじめなど、子どもからどこかに言う事のできるシステムづくり。	子どもを「こども民生委員」として地域のきづき役とするシステム構築は難しいと感じる。親を通じて学校等へ報告することで良いのはいか。
7	学校や商店街の一角にボランティアなど誰もが集まれる相談窓口機能を持つ場所を整備する【多様なつながり】	—	高齢者の自主性・自立性を高め、老人クラブやシルバー人材センターなど、様々な分野において一層活躍できるよう支援します。
8	安心して世代間交流ができ、障害があっても自立でき、つながりが育めるバリアフリーな場を整備する【多様なつながり】	—	あったかふれあいセンター事業として山田圏域、香北・物部圏域の2箇所整備し、活動を開始しています。

## 7、環境・道路

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
1	中山間地域の活性化の一環として、全日本草刈り選手権の開催や自然に親しむアスレチックやドッグランなど遊び場を設置する【親しむ】	—	アスレチックやドッグランなどの新たな設置は維持管理の面から難しいことから、現在設置されている施設を活用することができないか検討します。
2	物部川の土手や道路沿道に早咲き桜を植樹し、早咲き日本一の名所にする【親しむ】	—	物部川の土手は国交省から許可が下りないので、公園などの景観整備に努めるよう検討します。 【基本計画 施策11(P43)】
3	プライベートな庭先からパブリックな公道部分へ、花いっぱい運動を広げ、庭園都市（ガーデンシティ）を目指す【親しむ】	—	市民の協力を得て、花が楽しめる景観を整備できるよう取組を進めます。 【基本計画 施策11(P43)】
4	野生植物の食用化、山や川での遊び方を教える自然を知る教室を開催する【知る・伝える】	—	「山の学習」は継続して実施し、自然に親しみ、ふるさとを愛する心を育てる取り組みを行っていく。 【基本計画 施策17(P50)】
5	香美市内の県道・市道の1.5車線の整備を行い、中山間地域住民の利便性を高める	—	県道の事業主体は県であるため、市は県と連携し推進していくこととし、市道としては、現在整備を進めている路線の早期完成及び新規路線の整備着手を目指すこととします。 【基本計画施策6・7(P39)】

## 8、交流・協働

NO	提 言	提言の補足説明等	提言に対する市の取り組みや方向性
1	地域の方とみんなで食事をする会が開けるような場所と仕組みをつくる	場所を公民館などに限定したものではなく、子ども食堂や独居老人達が集まって交流できる場所づくりのこと。	<p>交流の場としては下記があり、将来的にそれぞれを充実させていく方向で取り組みます。</p> <p>①あったかふれあいセンターは子どもから高齢者まで誰でも利用できる、食べ物はないが100円でコーヒーは飲める。山田、香北・物部に2ヶ所設置している。</p> <p>②中央公民館事業</p>
2	「3町対抗香美市民運動会！」を開催する	運動会はあくまでも手段の一つで、3町の交流を行うということ。既存のイベントでは世代間の交流が出来ない。	<p>交流イベントとしては、スポーツ、文化、健康分野等多くの催しが行われており、本年度は合併10周年事業も実施し3町の市民の交流を図っている。今後は、こうした既存の催しを充実させることで、3町の世代間の交流を図る方向で取り組む。【資料4】</p>
3	行政と住民が協働でチェックし合える関係・しくみをつくり、香美市振興基本計画づくりの経過報告や検討の機会を持つ	—	<p>市では「まちづくり委員会」を行政と市民の協働の組織と位置づけています。</p> <p>来年度以降のまちづくり委員会では、振興計画で定めた施策の進捗状況等についてチェックしていただく方向で計画しております。</p> <p>【基本計画 施策63(P99)】</p>
4	市の広報誌を振興計画の章立てに合わせた構成にする	振興計画の進み具合がわからないので、年に1,2回ほど特集号として章立てで掲載すれば市民にも分かりやすいのではないかと。	<p>広報の発行主体は「広報委員会」であり、ここにはかり採用不採用が決まる。現在の広報は見やすい構成となっている。特集号としてであれば、章立て記事とすることは可能であると考えます。</p>